

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島県大竹市立栗谷小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒739-0645
広島県大竹市栗谷町小栗林510

E-mail kuritani@fch.ne.jp
Website <http://members.fch.ne.jp/kuritani/>

児童生徒数 男子 1 名 女子 3 名 合計 4 名
児童・生徒の年齢 11 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、40年あまり「みどりの少年団」を行っており、愛鳥活動や自然保護活動が続けてきた。現在は、人口減少、少子高齢化の過疎地にある学校として、より地域との結びつきを深め、地域の伝統や良さを継承していくことに重きを置くようになってきている。

「ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む」という理念のもとに、ESDの実践を通して多面的、総合的に考える力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度の育成を目標とした。

具体的には、①環境保護に係わる活動、②福祉に係わる教育、③食育に係わる学習、④地域の伝統文化に係わる学習を行った。

①環境保護に係わる活動

○野鳥観察と巣箱掛け 校内と近くの三倉岳キャンプ場に巣箱かけを毎年行い、野鳥の生態について理解を深めた。

○川の環境調査 保護者とともに川の生物調査をし、川の環境が保たれていることを確認した。また、講師から、近年の絶滅危惧種が増えてきていることなどを教えてもらった。

○紙芝居作り 森林が環境を守っていることや森林と私たちのくらしの関わりなどを紙芝居にし、山の日イベントで発表した。

②福祉に係わる教育

○介護プチ講座 道徳授業の後に、介護福祉士を招き介護プチ講座を行った。介護の体験談を聞き、認知症への理解や「思いやり」の心の大切さを学んだ。

○花を届ける活動 地域に住む一人暮らしの高齢者に手紙を出す取り組みを続けてきたが、本年度はそれに加え、高齢者宅を訪問し、花を届けた。顔を会わせることで、地域の方とのつながりを深めることができた。

③食育に係わる学習

○地域の特産品 近くの高等学校の家庭科クラブの生徒から、地域の特産品を使った料理を学んだ。

○お弁当づくり 食事を通して児童のこれからの生活がいっそう豊かになるようにというねらいでお弁当づくりをした。

④地域の伝統文化に係わる学習

○学校・町の歴史調べ 学校や町の歴史について調べて発表した。町の人々の様子やくらしが違っていったことなど、今との違いに驚いていた。地域に愛着を持っている児童であるが、いっそう想いを深めることができた。

○しめ飾りづくり 地域の高齢者から教えて頂いた。なわのない方など講師の巧みな手つきに感嘆し、なつかしい地域の文化に触れさせることができた。



①の写真（野鳥の巣箱掛け）



①の写真（川的环境調査）



①の写真（紙芝居の発表）



②の写真（花を届ける活動）



③の写真（地域の特産品を使って）



④の写真（しめ飾りづくり）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

紙芝居づくり 日本の森林と林業 (公益社団法人 大日本山林会) 野鳥や水生昆虫、魚などの図鑑等
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESD カレンダーの作成 指導計画との関連を明らかにした。
ESD とは、現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むという考え方で、教育内容のそれぞれを捉え直すことで、ESD が教育内容の充実につながった。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校は職員がたいへん少ないので、全員で協力してESD活動に取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

○地域の方々との交流が深まり、地域の特色を生かした教育活動が推進できた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ホームページで発信している。昨年度テレビ局から取材を受け、活動の様子がテレビで放映された。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

広島県環境学習推進専門講師を派遣してもらい、環境学習の充実をめざした。また、環境ポスター等の応募に協力した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

広島大学において開催された広島県ESD研修会に参加し、取り組みを交流した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

児童が地域の自然や伝統文化に興味を持ち、ふるさとへの愛着を語るようになった。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）